

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公表番号】特表2005-508159(P2005-508159A)

【公表日】平成17年3月31日(2005.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2005-013

【出願番号】特願2003-527091(P2003-527091)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 35/76 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 1 2 N 7/04 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 35/76

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

C 1 2 N 7/04

C 1 2 N 5/00 B

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年11月29日(2010.11.29)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アルファウイルス許容細胞中に

(i) 完全なアルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列を含む D N A 配列（ただし、D N A 配列は、アルファウイルス 5 ' および 3 ' 複製認識配列ならびにアルファウイルスサブゲノムプロモーターをコードしない）に作動可能なように連結された D N A 配列からの R N A の転写を指向するための構成性プロモーターを含む、アルファウイルス構造タンパク質を一過的に発現するための組換え D N A 分子と；

(i i) 少なくとも 1 つの異種性 R N A をコードするアルファウイルスレプリコン R N A と；

を含む、感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子を産生するためのヘルパー細胞。

【請求項 2】

前記細胞が、293、BHK、ペロ、CHO、CEF および DF-1 細胞からなる群から選択される、請求項 1 に記載のヘルパー細胞。

【請求項 3】

アルファウイルス構造タンパク質が、V E E 構造タンパク質、シンドビス構造タンパク質、S . A . A R 8 6 構造タンパク質、セミリキ森林ウイルス構造タンパク質およびロソリバーウイルス構造タンパク質からなる群から選択される、請求項 1 または 2に記載のヘルパー細胞。

【請求項 4】

アルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列が、1 つまたはそれ以上の弱毒変異を含む、請求項 1 ～ 3に記載のヘルパー細胞。

【請求項 5】

(i) 完全なアルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列を含む D N A 配列（ただし、D N A 配列は、アルファウイルス 5 ' および 3 ' 複製認識配列ならびにアルファウイルスサブゲノムプロモーターをコードしない）に作動可能のように連結された D N A 配列からの R N A の転写を指向するための構成性プロモーターを含む、アルファウイルス構造タンパク質を一過的に発現するための組換え D N A 分子と、 (i i) 少なくとも 1 つの異種性 R N A をコードするアルファウイルスレプリコン R N A とを、アルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列が前記 D N A 分子から一過的に発現し、アルファウイルス構造タンパク質を産生して感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子が生成される条件下で、細胞の集団に一過的に導入するステップを含む、感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子を生成する方法。

【請求項 6】

前記組換え D N A 分子が、前記細胞の集団にエレクトロポレーションにより導入される請求項 5に記載の方法。

【請求項 7】

(i) 少なくとも 1 つのアルファウイルス構造タンパク質コード配列をコードする D N A 配列（ただし、当該 D N A 配列は、アルファウイルス 5 ' および 3 ' 複製認識配列ならびにアルファウイルスサブゲノムプロモーターをコードしない）に作動可能のように連結された D N A 配列からの R N A の転写を指向するための構成性プロモーターを含む、アルファウイルス構造タンパク質を一過的に発現するための第一の組換え D N A 分子と、

(i i) 前記第一の組換え D N A 分子の少なくとも一つのアルファウイルス構造タンパク質コード配列中に存在しない少なくとも 1 つのアルファウイルス構造タンパク質コード配列をコードする D N A 配列（ただし、当該 D N A 配列は、アルファウイルス 5 ' および 3 ' 複製認識配列ならびにアルファウイルスサブゲノムプロモーターをコードせず、前記第一および第二の組換え D N A 分子が、全体として、全てのアルファウイルス構造タンパク質をコードする）に作動可能のように連結された D N A 配列からの R N A の転写を指向するための構成性プロモーターを含む、アルファウイルス構造タンパク質を一過的に発現するための第二の組換え D N A 分子と、

(i i i) 少なくとも 1 つの異種性 R N A をコードするアルファウイルスレプリコン R N A と

を、前記第一および第二の組換え D N A 分子が自律的プラスミドから発現し、前記アルファウイルス構造タンパク質コード配列が前記第一および第二の組換え D N A 分子から一過的に発現し、アルファウイルス構造タンパク質を産生して感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子が生成される条件下で、細胞の集団に一過的に導入するステップであって、前記第一および第二の組換え D N A 分子が、エレクトロポレーションによって細胞の集団に導入される、ステップを含む、感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子を生成する方法。

【請求項 8】

前記細胞の集団が、2 9 3、B H K、ペロ、C H O、C E F および D F - 1 細胞からなる群から選択される、請求項 7に記載の方法。

【請求項 9】

前記第一の組換え D N A 分子の前記アルファウイルス構造タンパク質が、V E E 構造タンパク質、シンドビス構造タンパク質、S . A . S R 8 6 構造タンパク質、セミリキ森林

ウイルス構造タンパク質およびロスリバーウイルス構造タンパク質からなる群から選択される、請求項 7 または 8に記載の方法。

【請求項 10】

前記第二の組換えDNA分子の前記アルファウイルス構造タンパク質が、VEE構造タンパク質、シンドビス構造タンパク質、S. A. AR 86 構造タンパク質、セミリキ森林ウイルス構造タンパク質およびロスリバーウイルス構造タンパク質からなる群から選択される、請求項 7 または 8に記載の方法。

【請求項 11】

少なくとも前記第一の組換えDNA分子もしくは前記第二の組換えDNA分子、または前記第一および第二の組換えDNA分子の双方の前記アルファウイルス構造タンパク質コード配列が、1つまたはそれ以上の弱毒変異を含む、請求項 7 ～ 10のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

前記細胞の集団が、293、BHK、ベロ、CHO、CEFおよびDF-1細胞からなる群から選択される、請求項 7 ～ 11のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記アルファウイルス構造タンパク質が、VEE構造タンパク質、シンドビス構造タンパク質、S. A. AR 86 構造タンパク質、セミリキ森林ウイルス構造タンパク質およびロスリバーウイルス構造タンパク質からなる群から選択される、請求項 7 ～ 12のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

前記アルファウイルス構造タンパク質コード配列が、1つまたはそれ以上の弱毒変異を含む、請求項 7 ～ 13のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

(i) 完全なアルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列を含むDNA配列（ただし、DNA配列は、アルファウイルス5'および3'複製認識配列ならびにアルファウイルスサブゲノムプロモーターをコードしない）に作動可能なように連結されたDNA配列からのRNAの転写を指向するための構成性プロモーターを含む、アルファウイルス構造タンパク質を一過的に発現するための組換えDNA分子と、(ii) 少なくとも1つの異種性RNAをコードするアルファウイルスレプリコンRNAとを、アルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列が前記DNA分子から一過的に発現し、アルファウイルス構造タンパク質を産生し、感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子の集団が生成される条件下で、細胞の集団に一過的に導入するステップを含む、二連性RNAヘルパー系の使用により産生された感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子の集団と比べて、組み換え／パッケージングの減少した頻度を有する感染性の複製欠損アルファウイルスレプリコン粒子の集団を生成する方法。

【請求項 16】

前記細胞の集団が、293、BHK、ベロ、CHO、CEFおよびDF-1細胞からなる群から選択される、請求項 15に記載の方法。

【請求項 17】

前記アルファウイルス構造タンパク質が、VEE構造タンパク質、シンドビス構造タンパク質、S. A. AR 86 構造タンパク質、セミリキ森林ウイルス構造タンパク質およびロスリバーウイルス構造タンパク質からなる群から選択される、請求項 15 または 16に記載の方法。

【請求項 18】

前記アルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列が、1つまたはそれ以上の弱毒化変異を含む、請求項 15 ～ 17に記載の方法。

【請求項 19】

前記組換えDNA分子が、前記細胞の集団にエレクトロポレーションにより導入される、請求項 15 ～ 18に記載の方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

第七の態様では、非複製DNAヘルパー、すなわち完全なアルファウイルス構造ポリタンパク質コード配列をコードするDNA配列（ただし、DNA配列は、アルファウイルス5' および 3' 複製認識配列 ならびに アルファウイルス・サブゲノムプロモーター(subgenomic promoter)をコードしない）に作動可能なように連結されたDNA配列からのRNAの転写を志向するプロモーターを含むアルファウイルス構造タンパク質を発現するための組換えDNA分子が提供される。